活用」の力を育てる評価問題

では、

「なには

が)

にあたる

ことばは

なにでしょう。

小1 国語 「どうぶつのはな」

題例

「なには が) (ななさいです。 「なにだ」 「なにだ」にあたります。 「ななさいです。」という ことばは

「なには

「なには

が)

「なにだ」

にあたる

ことばは

という

ぶんの

なかで

わたし

は

がくせい

です。

が 「なにだ」

どれでしょう。

まだ わたし ななさいです。 は L ようがくせ こいです。

問題のポ

- 低学年で指導する言語事項として重要な主語と述語の関係についての理解を確かめる問題で ある。主語が省略されている場合でも主語に気付かせるなど、語句と語句との関係をとらえさ せる指導が必要である。
- 児童の実態に応じて、カードを作り一斉指導で丁寧な説明を加えながら学習させることも考 えられる。

すると 4 んなに わかりやすいでしょう。 はなすとき 三つのまとまりを سلح Ō

じ

ゅ ん

なぎましょう。 うえと したの (三つの ぶん(カード)を まとまりに わかりやすいように しましょう。

なこにれ は で L よう か

べみあおか んをしそめ をわのれ ŋ なま やきに

こうら でし よう。

れ

は

か

8 0

こうらです

でしょうか。ところが

ベど

んりな

かつはか たらとが ながって て こうら いたなかれるのが でが、うっと

- 文と文とのつながりが分かっているかどうかを確かめる評価問題である。文を書いた6枚の カードを用意して黒板上で並び換える操作を児童にさせるなどの工夫が必要である。
- 1年生の段階では動物名、特徴などの説明の順序や、段落と段落との関係の理解については 気付かせる程度に留める。